令和３年度　高知市立学校　学校評価書

学校名　　高知商業高等学校

大項目	自己評価				学校関係評価	
	中項目	小項目（評価指標・具体的な取り組み）	達成状況・改善方策	評価	評価	
1・ビジネスマナーの日常化	⑴皆勤･精勤を増やす指導の徹底と継続	①遅刻減少を目指す指導の展開 ②啓発・顕彰活動の展開 ③精皆勤３年間６０％以上	①「遅刻０日」の定期的な実施を継続(生徒)生徒の朝の様子を巡回して確認(教育相談)ノーチャイムデーの実施。97.26%が守れた(特活)ホーム主任・学年主任・補導専任が連携、教員間コミュニケーションを高めて指導(生徒) ②学期毎に名前･数値を公表(多数) ③２学期は 98、83、93%(各学年)	B	B	社会生活の基本であり、その取り組みは生徒に伝わっている
	⑵教室の環境整備	①教室の棚・荷物の整理 ②床拭き指導の展開	①市商祭の使用物はすぐ処分(3 年)毎朝の巡回(生徒) ②教員も生徒と共に実施（スポ科）モップの活用(２年)	B	B	教室もよく片付けられている
	⑶授業規律スタンダードの徹底と継続	①授業における分離礼の統一指導の徹底と継続 ②「ベル開始」指導の徹底と継続 ③授業者１分前着の徹底と継続	②③は。よくできているという評価が多数であるが、①について、やり直し指導も行っているが徹底しきれていない。	C	B	分離礼につぃいては今後に期待する
	⑷職員室･準備室での指導の徹底と継続	①挨拶指導の徹底と継続 ②服装指導の徹底と継続 ③言葉使い指導の徹底と継続	①教員側より挨拶をする(多数) ②女子のネクタイや移動時のひざかけに対する指導の実施(複数) ③部活動と連携した敬語指導(3 年)	B	B	良くなってきた
	⑸環境美化指導の徹底と継続	①生徒玄関・駐輪場・トイレ・階段等 ②清掃後の振返り指導の継続と発展 ③副主任による教室の棚の整理指導の徹底と継続	①できているが、一部、掃除で不十分な所が目立ってきた。 ②振り返りは司会にチェックシートを渡して実施(図書) ③おおむね副主任による指導がされているが、行事後不徹底であった。	B	B	体育館のトイレは不十分だと感じた
	⑹交通安全指導の徹底と継続	①日常指導の徹底 ②自転車安全運転指導の徹底と継続 ③ヘルメット着用の推進	①定期的な交通指導や早朝街頭指導の実施(生徒) ②秋の交通安全運動に参加(生徒)車と自転車の接触事故が２件 ③進んでいない	B	B	ヘルメットの着用率の向上が課題である
	⑺服装指導の徹底	①計画的・系統的指導の徹底 ②日常指導の徹底 ③「校内」から「校外」へ	①補導専任の学年会出席(生徒) ②学年補導担当と連携(学年団) ③入試の服装指導を進路の各行事で実施(進路)校外学習における主任・副主任での事前、当日指導(複数)	B	B	良い状態を保てている
	⑻行事・進路決定後の学習・生活指導	①行事後の学習・生活 ②進路後の学習・生活	①行事後に授業規律再確認を実施(家庭)②検定試験の受検や課題を課す(多数)四大指定校推薦合格者に対する指導の実施（進路）	B	B	最後までよく頑張れた
2・基礎学力の定着	⑴関心意欲態度・提出物・配布資料の管理の徹底	①関心意欲態度・提出物と評価の一体化 ②配布資料管理能力の育成	①ノート、提出物の質を加点した評価を行う(社マ課研)学期初めに確認、学期の終わりに振り返る(社マ)授業アンケートを実施し、授業改善につなげる(特進)数値化して評価に加える(情マ情処)授業参加を第一にする(保体)小テストの実施、ロイロノート活用(地歴) ②ファイルを準備し指導する(1 年)単元ごとにまとめ(家庭)資料はタブレット端末に配信（商経科目）課題一覧の作成と配布(教務)進路だよりのポートフォリオ化の実施(進路)Mブックの活用(図書)不要になったプリント等の廃棄指導(簿記会計科目)	A	A	提出物の向上を測る取り組みや数値化しての評価など生徒の意欲向上に向けた取り組みができている

	⑵義務教育段階での学習内容の定着図る指導	①各科目シラバスの計画的実施 ②小テスト・復習課題などの実施	①講義理解型授業を単元ごとに実施する(スポ)定期試験に文章を書く問題を必ず提出(商経科目)学習事項は漢字で解答させる(地歴) ②自主勉帳のチェックを部活動顧問が毎日実行する(スポ)選考会と関連付けて指導する(3 年)毎回実技に活かす内容の提示(芸術)	B		B	自己評価を尊重する
	⑶学習行動及び家庭学習を促す指導の徹底	①授業課題の提示 (やってくる生徒を増やす) ②検定合格のための早めの学習計画や課題の提示 ③長期休業中の課題提示 ④３年生への卒業課題の提示 ⑤新入生への課題の提示	①②③④⑤実施している(多数) 進路に即した課題提示、Mブックに詳細を記す(情マ)自主勉帳のチェック(スポ)クラッシーの事前・事後対策動画を配信(英語)調べ学習を課題(商総科目)夢ナビ動画視聴及び要約課題(進路)検定週間を設ける(教務)学習委員会が学習便りを配信(特活)	B		B	提出しなければだめという意識がきちんとついてきている
	⑷全員が全商検定１級を取得する指導	①３種目１級取得１０８名以上 ②卒業時１級取得１００％	①②各授業担当者がタブレットで教材配信で対応(英語)検定週間を活用した放課後補習を実施(情処科目)問題集の購入や補習のサポート(簿記会計科目)学期ごとのマネジメント指標で確認(管理)学校推薦型選抜(全商)のある大学の提示(進路)	B		B	みんなで目標をたてて資格取得に向けた取り組みは評価できる
	⑸朝読時間の効果的な実施と計画	①原則的指導と例外的指導を明確にした指導	①学年の朝の読書担当が計画・実施(3 年)新聞読破、英語、読書を計画的に実施(社マネ)原則週 1 回漢字テスト実施(特進)毎学期科目に関わる本の紹介(芸術)朝読委員会を計画的に運営(図書)検定前指導において小テスト等の実施(情処科目)	B		B	各科・コースの特色が出ている
３・市商マネジメント力の育成	⑴コミュニケーション力を育成する指導	①社会と協働する力 ②チームで働く力 ③グループワーク力 ④討論する力	①外部との接点がなかった(3 年)ｵﾝﾗｲﾝ人権交流学習実施(人権) ②講演等での聴く態度は良好(1 年)毎日挨拶運動実施(2 年)TPO に対応できる(3 年) ②③④行事・進路指導・委員会で話し合いができた(各部署)研修旅行実施(2 年)授業において PW・GW ができている(各教科)	B		B	各行事において生徒の成長を感じる
	⑵課題発見･課題解決力を育成する指導	①自主的に学ぶ力 ②調べる力 ③ノートを作る力 ④タイムマネジメント力 ⑤論理的思考力・分析力	①～⑤LH や行事で取り組んだ。Mbook とﾀﾌﾞﾚｯﾄを併用する(3 年)PDCA ｼｰﾄが質的向上した(特活)ICT 教員学習会の実施(ICT)国公立指導, 出前講座実施(進路)研修旅行, 課題研究で実施(ﾗｲ)夏ﾎﾞﾗ, 日曜市での活動(社ﾏﾈ)授業,検定,定期考査振返り実施(各教科)	B		B	国公立講座における希望進路における調査が定着してきた
	⑶プレゼンテーション力を育成する指導	①発表力・説明力 ②文書力(論述・論理的表現力) ③レポート作成力 ④記録・要約できる力	①～④講演会,行事にて実施(学年・部署) 国公立講座で指導(管理職・進路)HOTS と連携申込者 19 名(進路)1 月発表会を計画(ﾗｲ)ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽﾃｽﾄ実施(外国語)授業で取り組めている(各教科)ﾛｲﾛ,ｼｭﾐﾚｰｼｮﾝの活用(理科)WEB での情報収集ができるでき、ﾃﾞｰﾀを読めるようにする(社ﾏﾈ)	B		B	市商マネジメントフェスティバルでの各クラスの動画作成の質が高かった
	⑷講義理解力を育成する指導	①メモする力 ②論述する力	①講演ﾉｰﾄ,Mbook, ﾀﾌﾞﾚｯﾄ併用(学年・ｺｰｽ)研究授業ﾚﾎﾟｰﾄなどを発信し内容の共有を行った(管理職)工科大教授講演実施(情ﾏﾈ) ①②総合型選抜対策で実施(進路)見える化,つながりを重視したメモ指導,ｻﾝﾌﾟﾙ配信(社ﾏﾈ)ﾒﾓ力からﾒﾓ活用力へ,討論力課題３学期取組む(社ﾏﾈ課研)ﾛｲﾛで	A		A	皆で取り組むことでお互い刺激されている

			ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵ(情ﾏﾈ情処)				
	⑸ＩＣＴ･英語活用力を育成する指導	①日常的な英語活用力・表現力 ②タブレット活用力（全学科・コース） ③PC 活用力（生徒用 214 台配備）	①1 年 GTEC 受験(外国語)　多数英用語導入(情ﾏﾈ) ②市商祭で活用(学年)次年度に生徒 ICT 委員会設置(特活)ﾀﾌﾞﾚｯﾄ破損に優先対応した(ICT)Google workspace の研究を進める(管理職)研修旅行発表でﾀﾌﾞﾚｯﾄ活用(ﾗｲ)授業で概ね活用されている(教科) ③技術競技会,公募 多数入賞(情ﾏﾈ)	B	B	コロナ禍でのタブレットでの対応の早さは評価できる
	⑹察する力（企画力・行動力）を育成する指導	①企画できる力 ②説明できる力 ③行動できる力 ④言われなくてもできる力	①～④生徒主体の講演会実施(1 年)講師との事前打ち合わせ必要(1 年)察しているが,気が利かない(3 年)生徒主導,教員主導の両輪で指導(特活)研修旅行で社会と繋がる場面設定(ﾗｲ)評価方法,必要性と時間の問題,指示が通りづらい等がある(教科)	B	B	おとなしめになって落ち着いてしまったところもあるが底力はついてきた
	⑺失敗から学ぶ力(創造する・挑戦する）を育成する指導	①創造する力 ②挑戦する	①②考査・検定の振返り実施予定であったが、LH の計画にない(1 年)進路指導では失敗する前に手を差し伸べている,失敗できない(3 年)行事で昨年の課題改善質的向上が見られた(特活)今後挑戦への奨励に対する評価に取り組む(管理職)ITﾊﾟｽﾎﾟｰﾄ 3 名,公募多数入賞(情ﾏﾈ)振返りで実施できている(各教科)進路と合わせて記録に残す必要がある(社ﾏﾈ)	B	B	挑戦し、失敗を経験に変えられている
	⑻授業改革	①M型・W型・MW型授業の実践	生徒主体Ｇ型会議を実施(特活) 研究授業で型の宣言はできている、日常の授業で定着を働き掛け(管理職)複合的に実施(外国語科)実践と研究が進められている(教科)	B	B	受け身的な授業ばかりではなく生徒主体という方針を感じる
	⑼市商質問改革	①「なぜ」と「ど？」	ｺﾞｰﾙﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｼｰﾄの作成,PDCA を用いて指導している(特活)研究授業の成果を発信(管理職)ｵｰﾌﾟﾝ型の質問設定指導(社ﾏﾈ)講演中や会話中の質問作成力指導へ(社ﾏﾈ)概ね実施と研究がされている(教科)ﾒﾓに疑問点を残す(理科)	B	B	受け身的な授業ばかりではなく生徒主体という方針を感じる
	⑽テスト改革	①論理的思考力・判断力 ②社会とのつながりを問う問題 ③市商質問改革	①～③教科で工夫して取り組んでいる ①プログラミング教育の導入(情ﾏﾈ)社会問題と関連させて授業展開(国・地公)ｸﾞﾗﾌを書く読む力を伸ばす(社ﾏﾈ)	B	B	自己評価を尊重する
	⑾評価改革	①観点別評価 ②ルーブリック評価の実施	①実践事例の収集,3 学期当初に提示を目指す(管理職) ②研究中の教科もあるが、活用が増えてきている(教科)	B	B	自己評価を尊重する
4．学びに向かう力（主体的な学び）の育成	⑴高知や社会に貢献する力を育成する指導	①授業における 学びを高知の課題と結び付けて理解できる力の育成 ②授業における学びをグローバルな視点を持って、社会や地域の活性化を考え企画できる共創力の育成 ③積極的に企業・大学・行政・地域の方々と連携・協働し行動できる力の育成	似通った取り組みとなっている。次年度は工夫が必要(3 年)校外での活動がなかった分、内容に影響があった(3 年)2 社と商品開発を実施(特活)本校 HP にて発信した(管理職)ｵﾝﾗｲﾝ交流 3 回実施(人権)研修旅行実施(科・ｺｰｽ)高大連携の取り組み実施(ｽﾎﾟ科)縦型授業と発表を計画(社ﾏﾈ)SDGs や防災と関連し実施(家・理)　探究サイクルを利用した教材の利用(商総合科目)	B	B	多方面でのコラボや協賛、社会との連携の活動は評価できる

	⑵高いレベルの進路を目指す生徒を育成する指導	①国公立大学受験者合格者を増やす指導 ②共通テスト対策指導 ③動機づけ（講演会・オリエンテーション等） ④面接・文書作成指導の改革（コンピテンシー面接やオリジナル文書作成指導の実施） ⑤卒業生や外部指導者 による指導 ⑥縦割り学習の実施	①共通ﾃｽﾄ 88 名出願。大学入試対策に対応(各教科)大学の受験方法変更が相次ぎ熟慮が必要である(3 年) ②教科で対応した（各教科）奨学金情報提供を行った(総務) ③進路ﾃﾞｰﾀ提供,進路ﾛﾝｸﾞﾎｰﾑで実施(学年)前年の振返りを共有し指導に活用した(管理職)進路の特別コーナーを設置(図書) ④HOTS と連携実施 19 名(進路) ⑤ようこそ先輩実施(学年・ｺｰｽ)卒業生はｺﾛﾅ禍で呼べなかった	B		B	
4．学びに向かう力（主体的な学び）の育成	⑶高いレベルの資格検定を目指す生徒を育成する指導	①日商簿記２級１７名以上 ②基本情報・ＩＴパスポート３名以上 ③実用英検２級３０名以上	①2 名 ②IT パスポート 3 名合格 ③3 名合格	C		B	日商簿記検定１級合格者がでた
	⑷特進(東大合格)ライ(日商簿記１級)社マネ(日英検１級)情マネ(STEAM)スポマ(アスリート集団)実現のための取り組み	①東大合格(特進コース) ②日商簿記１級（ライセンスコース） ③日英検１級（社会マネジメント科） ④STEAM(情報マネジメント科) ⑤アスリート集団(スポーツマネジメント科)	①日商簿記１級取得をめざして学習しているプロジェクト生がいる(簿記会計) ③定期テストに語彙復習問題を入れる(外国語) ④IT パスポート 3 名合格	B		B	日商簿記検定１級合格者がでた
	⑸行事・講演会・報告会等の質的向上をめざす指導	①積極的な企業・大学・行政との連携 ②市商マネジメントの視点を持った生徒の主体的な参加による運営 ③各種オリエンテーションの質的向上	①３学期に起業家を招いて講演会を実施(ﾗｲ)全学年での取り組みはできていない。諸経費との兼ね合いが問題(社ﾏﾈ) ②講演会・行事等で実施(学年・特活)全体で評価の場面を作る(管理職)　生徒玄関展示準備中 3 学期検討(社ﾏﾈ)体験入学で実施	B		B	多角的な取り組みをしているがまとめ切れていないところがある
	⑹全国的レベルの部活動,生徒会活動の実現	①全国大会出場１５種目以上 ②部活動加入１００％実現	①10 種目。水泳,卓球,簿記,珠算,電卓,放送, CA,ﾜｰﾌﾟﾛ,生徒会執行部,ｸﾗﾘﾈｯﾄ個人②99％	B		B	コロナ禍で制限された中でよく頑張れた
	⑺文化活動を活性化させる指導の充実	①文化部・授業での積極的な各種大会の参加やｺﾝｸｰﾙへの応募 ②文化活動・各種大会応募実績４０種目以上	①classi を活用して各活動の報告が定着しつつある(管理職)2,3 年生入賞者多数(情ﾏﾈ)WFP,JICA ｴｯｾｲに応募継続(社ﾏﾈ)案内を継続する(複数教科)②ﾋﾞﾌﾞﾘｵﾊﾞﾄﾙへ参加(図書)	B		B	コロナ禍で制限された中でよく頑張れた
	⑻ポートフォリオ化させるための指導と評価	①主体的な整理・蓄積への指導 ②定期的な振り返りによる学習意欲を向上させる指導	①ﾃﾞｼﾞﾀﾙ,ｱﾅﾛｸﾞ双方の指導(特活)取り組みと結果を年度末に確認する(管理職)相談室登校時に日誌を書き主任と共有した(相談室)ﾌｧｲﾙを購入し保管(ﾗｲ)ﾉｰﾄへのﾌﾟﾘﾝﾄ類の添付・ﾛｲﾛ等へ保存し評価する(複数教科)②振り返りと評価の実施(複数教科)	B		B	Mブックをもっと活用する必要がある
5．各部署組織運営計画	⑴各部署の組織運営･組織活動の活性化	①計画的かつ主体的な組織運営・組織活動の実施 ②明確な役割分担と責任体制の確立 ③報連相の徹底 ④情報の共有化	①②コロナ禍に対応・工夫した学習活動や学校行事に取り組めた。 ③④適切な初期対応について、実行できるようあらためて整理する必要がある。	A		A	自己評価を尊重する
6・重点学校	⑴情報管理(組織文化)	①市商ブランド化戦略を推進する ⇒ あらゆる広報にこれを位置づけ、掲示物やオリエンテーション・集会等による積極的な情報発信を行い､ロゴや 標語を最	①生徒や教員の思う市商としての誇り（ブランド）と経営ビジョンの合致を図る。 ②GoogleWorkspace の使い方を知るとともに、小・中でどのように活用され	B		B	自己評価を尊重する

		大限に活用する ②キャリアパスポートの体系的な運用を実施する ③Classi の全校的運用を本格化し、諸会議におけるﾍﾟｰﾊﾟﾚｽ化を推進し、節電と合わせ経費削減を図る ④卒業 4 年後 の生徒の進路調査を行い、 高知への 貢献度を分析する ⑤スクールミッション・スクールポリシーを８月末までに完成させる	ているかの実態を調査する。 ③ペーパーレス化が定着。ICT 活用による軽減について継続して研究。 ④卒業前に、卒業生とつながる仕組みづくりを計画し実行する。 ⑤職員会議で共有を図った。次年度、校外への発信に取り組む。				
	⑵人材開発 （組織改革）	①授業実践ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ M 型 W 型 MW 型の研究を深め ICT の活用を促進する ②研究授業の質を向上させる・・管理職・主幹教諭が事前検討会に一層参加し当日ビデオ録画する等事後検討会を充実させ、その後研究授業観察レポートを掲示板にて発信する ③授業研究スタッフを組織し、研究を深め外部へ積極的に発信する ④国公立講座の質的向上（imput 指導の重要性等）を図り、年間指導計画及び共通テスト研究体制を再構築する ⑤初任者・年次・期限付・時間講師等の指導力向上 ⑥職員のタブレットの活用力・活用率の向上を図る	①②研究授業・年次研修（初任研を含む）において、授業実践スタンダードの型を駆使しながらも、質問改革の面で多様な進展を見せる授業が多数登場した。 ③自己課題研究への取り組みを、免許更新免除等につながるよう検討する。 ④国公立講座への出席と主体的に多様な教員を巻き込む生徒が、生徒自身の力を伸ばし、希望の進路につながっている。この点について市商フォーマットとして、分析・協議・共有する必要性がある。 ⑤初任研公開授業の事後検討会での課題を、初任者自身が正確に捉え、次回授業で克服・改善する姿から、初任者における授業PDCAがしっかり体得しつつあると考える。 ⑥Classi・ロイロノートの活用成果は高い。今後は、GoogleWorkspace の活用力の伸長を図りたい。	B		B	自己評価を尊重する
6・重点学校組織運営計画	⑶改善力のある 組織体制	①危機管理３大原則を徹底する ❶不登校・いじめ等に関する情報収集 ❷報連相の徹底 ❸適切な初期対応 ②職員の挨拶、整理整頓など凡事徹底を図り、朝は希望で始まる職朝を実施する ③積極的な広報活動を組織的に行う(管理職･主幹教諭をリーダーとして情報班と連携し､R－PDCA システムを構築する ④ICT 教育推進委員会を中心に、市商版 GIGA スクール構想を作成し実現する ⑤会議は定刻に始める ⑥ワークライフバランスを目指して「働き方改革市商八策」を推進する・・ 本校の勤務の在り方について独自性を生かしながら整理する(2 学期始業式･学期末日程・振休等) ⑦朝読スタンダードを徹底し、今まで以上に学校全体として朝読の時間を有効に活用する	①本校生徒が学校生活において、安心安全に過ごすため、保護者や関係機関との連携、教員の適切な対応が求められている。この観点をもって、教員同士の連携を深める。 ②凡事徹底により、教育公務員としての危機管理の向上に努める。 ③ホームページがリニューアル。さらにスピード感のある広報活動に２学期取り組んだ。 ④貸与タブレット端末の貸与完了。破損等への対応件数から予防のための先手をうった指導に取り組む。 ⑤実施している。継続 ⑥「働き方改革八策」を示し、超過勤務時間 80 時間以上０人を目指す。20 時完全退校を目指す。 ⑦ホーム主任を中心に、２学期も静かな朝読の時間を生み出している。継続して取り組む。	B		B	自己評価を尊重する
全 7 ・ 防安	(1)交通安全指導の充実	①自転車安全指導の徹底 ②旭校区の諸団体との連携	①秋の全国交通安全運動、早朝・夜間自転車街頭指導に参加 ②あさひの子供を守る会、旭校区交通	B		B	ヘルメット着用への意識を高める必要が

			安全協議会、ヘルメット着用推進に関わる協議会に参加。				ある
	(2)防災教育の充実	①系統的な年間計画の策定と実施 ②地域と連携した避難訓練の計画と実施	①安全教育全体計画を作成し、本校が土砂災害警戒区域であることを確認できた。②シェイクアウト訓練を実施。３学期以降も順次計画する。	B		B	想定外の災害対応を考える時期にきている
8・総合評価	(1)高知や社会に貢献し、進学にも就職にも強い元気のある商業高校	①体験入学参加者および受験者の増加 ②進路決定１００％実現 ③県内進学就職率の向上 ④学校が同じ方向を向くためのＰＤＣＡサイクルの実現	①一昨年を超える体験入学参加者数となった。 ②100%を目指す。 ③県内企業との面談を実施、会社の情報を生徒に提供 ④各部署からPDCAを総括した成果・課題について具体的に記述できている。	B		B	小項目において多数のＡ評価をいただいたがさらなる向上を目指すためＢ評価とする